群集避難シミュレーションの数値解析手法の検証と妥当性確認

日本地震工学会「津波等の突発大災害からの避難の課題と対策に関する研究委員会」（後藤洋三委員長）では，「避難シミュレーション普及部会」（堀宗朗 部会長）を設けて群集避難シミュレーションの品質保証を検討してまいりました．多くの数値解析手法では，品質保証の具体的な方法として，検証と妥当性確認という二段階の手順がとられます．これを参考に，群集避難シミュレーションの数値解析手法の検証と妥当性の具体的な内容を考案し，これをを「避難シミュレーションの検証と妥当性確認　Verifcation & Validation (V & V)」というマニュアルとして整理いたしました．

マニュアルの有効性・実用性を調べるため，群集避難シミュレーションの研究者・実務者の方々に，このマニュアルに則って，お使いの数値解析手の検証と妥当性確認をすることをお願いしたく考えております．本マニュアルの妥当性検証は，2011年東日本大震災での津波避難に関する調査結果を基に作成された群集避難の状況のシミュレーションを対象にしております．貴重な調査結果を活用する一例となることも期待されております．

群集避難シミュレーションの数値解析手法の検証と妥当性確認は，以下の日程で進めます．群集避難シミュレーションの品質保証を進め，この分野の研究を進めるとともに，信頼に値するシミュレーションを広げることに，ご協力をお願いできれば深甚です．日程にありますように，ご協力できる方は8月31日までにエントリーをお願いできれば幸いです．また，ご同意いただければ，検証と妥当性確認の結果は日本地震工学会のホームページに掲載する予定です．

数値解析手法の検証と妥当性確認の日程

2015年

8月31日　 協力される方のエントリー

9月 1日 妥当性確認のための群集避難シミュレーションの設定情報の提供

11月31日　 検証と妥当性確認の結果の提供

2016年

2月1日　 検証と妥当性確認の結果の公表（日本地震工学会のホームページ）

検証と妥当性確認のエントリー，及び，本件に関する問合せは下記です．

hori@eri.u-tokyo.ac.jp